診療局：外科《乳腺・内分泌外科》

＜スタッフ紹介＞

役　職	スタッフ名
部　長	森島　宏隆

＜特色と概要＞

乳腺内分泌外科では、主に乳がんの診断、治療を行っている。手術では根治性と整容性（美容性）の両立を目指して、形成外科医の協力のもと乳房再建手術にも積極的に取り組んでいる。手術以外の治療法としてエビデンスに基づいた薬物療法（化学療法や分子標的療法、ホルモン療法、免疫療法など）も行っており、多遺伝子アッセイ検査の一つであるOncotype DXなどを用いながら患者一人一人にみあった個別化医療を提供している。BRCA1/2遺伝子検査を用いた遺伝性乳がん・卵巣がん症候群（Hereditary Breast and Ovarian Cancer Syndrome；HBOC）の診断と遺伝子カウンセリングなども実施をしている。また、JBCRGやKBCSGなどの臨床試験グループにも積極的に参加し、再発患者も含めて、最先端な治療を提供できるように心がけている。患者自身が病状やライフスタイルに合った治療を選択できるように、できる限り寄り添っていく診療を目指している。

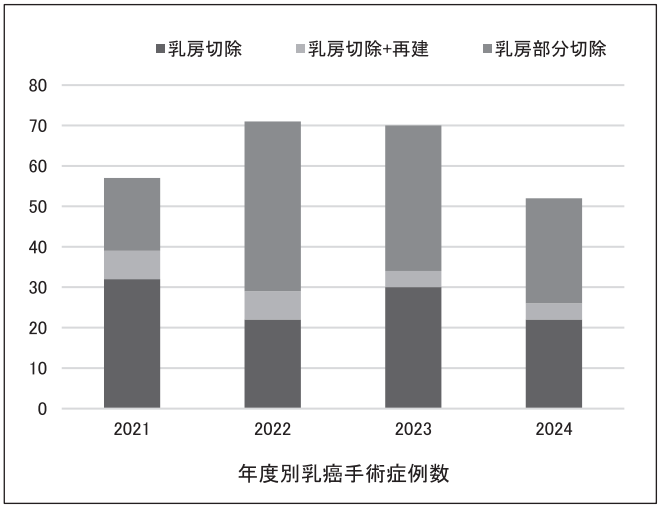
＜実績＞

入院患者の疾患名と人数　（期間 2024/4/1-2025/3/31 退院）

主病名（ICD10コード名）	ICD10	件数
乳房の悪性新生物＜腫瘍＞，乳房，部位不明	C509	62
乳房の悪性新生物＜腫瘍＞，乳房上外側4分の1	C504	5

2024年度乳癌術式別手術症例数

乳房部分切除術のみ	2
乳房部分切除術+センチネルリンパ節生検	22
乳房部分切除術+腋窩リンパ節郭清	2
乳房切除術のみ	1
乳房切除術+センチネルリンパ節生検	12
乳房切除術+腋窩リンパ節郭清	9
乳房切除術+センチネルリンパ節生検+同時再建	4



＜今年度の反省と来年度への抱負＞

現在常勤1名、他院からの応援医2名で診療を行っている。また他職種と連携をとりながら、できるだけこれまでのクオリティを維持しつつ診療を行っていく所存である。